

平成27年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市会津八一記念館】

施設名	新潟市会津八一記念館			
管理者名	公益財団法人会津八一記念館	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課			
所在地	区名	中央区	住所	万代3丁目1番1号 新潟日報メディアシップ5階
根拠法令	—			
設置条例	新潟市会津八一記念館条例			
施設概要	設置：昭和50年4月（平成10年市へ寄贈）（平成26年8月1日 移転） 施設規模：鉄筋コンクリート、428.388㎡ 施設内容：展示室、応接室、会議室、事務室、ライブラリー、収蔵庫 料金区分：大人500円、大学生300円、高校生200円、中・小学生100円（特別展を除く）			

施設設置目的	
会津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、会津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
会津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ会津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、郷土新潟の文化振興とともに、わが国の教育・学術の興隆に寄与する（公益財団法人会津八一記念館定款第3条より抜粋）	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	1 基準利用者数の達成	入場者数年間7,500人以上	8,332人	A	目標を上回り評価できる。
	2 広報の充実	ホームページアクセス件数年間2万件以上	26,042人	A	目標を上回り評価できる。
	3 各種サービス別満足度	展示に対する感想「よかった」以上が80%以上 接客に対する満足度で「普通」以上を80%以上	「展示量」に対して77～85%（企画による差）	B	企画で目標値を達成できるように努めて欲しい。
			96%（入館者アンケート結果）	A	非常に高い満足度で評価できる。
	4 苦情・要望に対する対応	苦情、要望には速やかに対応	隣施設受付との紛らわしさを床の表示で解消。	A	とても分かりやすく、評価できる。
	5 設置目的に合致したサービス提供	文芸講演会の実施件数を年4回以上	4回、参加者586人	B	
6 その他	アウトリーチ活動の実施件数を年2回以上	入館者に占める県外者比率が20%以上	24%	A	目標を上回り評価できる。
		アウトリーチ活動の実施件数を年2回以上	13回、参加者614人	A	目標を大きく上回り評価できる。
財務	1 経費の節減	指定管理料を年度協定額及び交付決定額以下に抑える	49,078,503円 （平成27年度予算額49,948千円）	B	
	2 市の歳入の増加	観覧料収入を年間2,600千円以上	3,140千円	A	目標を大きく上回り評価できる。
業務	1 業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
	2 安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	事務長を責任者として、入居ビルの防災センター・警備委託会社と一体となって安全確保を推進。入館者の安全は全職員で対応。日常連絡を緊密にしている。	B	
	3 事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底及び消防訓練等の実施	AED購入、職員で使用方法を確認。防災訓練にも参加した。	B	
	4 日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	提出した	B	
	5 事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	提出した	B	
	6 改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する	指摘された人材発用の計画化では1年間、事務長代理を置いて業務の引き継ぎにあてた。	B	
	7 運営方針、事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか	展示、講演会、イベント、解説会、収蔵品管理等すべての事業の運営指針としている	B	
	8 運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針及び事業目標をホームページ等で市民へ公開しているか	ホームページの施設概要に方針及び目標を公開している。	B	
	9 運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立てているか	評価、反省をもとに事業改善を行い、より良い展示、イベント開催をめざしている	B	
	10 運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか	定期的なミーティングは行わないが、市と密に連絡をとり指導を仰いでいる	B	
	11 個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	当館の個人情報保護規定や作品借借者・鑑定依頼人の匿名性保護を徹底	B	
	12 当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	館の例規集を職員に配付。常にそれに基づいた業務遂行を徹底	B	
	13 守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	総務職員が個人番号移行前の研修に参加し、番号管理の実務を学んだ。日常、個人名や数字の入った書類の廃棄は館の規定に基づき徹底	B	
人材	1 専門性の高い人材の配置、育成	学芸員を常時1人以上配置すると共に専門性に優れた育成を行うこと	休日取得の分散により、常時1人以上を配置した。	B	
	2 職員のスキルとモチベーションの向上	積極的に職員研修を実施し、スキルの向上に努めているか	独自に設けなかったが、北信越または全国規模の博物館研修会に出席し、展示・広報等に関する知識・理解を深めた。	B	
	3 労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	休日出勤の場合は代休を取るなど、過重労働にならないよう注意している。	B	

総合評価（所見）	
入館者数やホームページアクセス件数が目標を上回っており、評価できる。 ただ、満足度が企画展により目標値を下回っているため、企画展が目標を達成できるような展示を企画してもらいたい。また、今後も入館者数の維持に努めてもらいたい。	

評価水準
 A 要求水準＝（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 B 要求水準＝（評価指標）が達成されている。
 C 要求水準＝（評価指標）が達成されていない。